



会報

No.23

2010年1月1日発行

発行/日本コンプライアンス・オフィサー協会 発行責任者/菅原敏郎
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号 電話 (03) 3267-4826
ホームページ <http://jcoa.khk.co.jp/>

新しい経済社会構築への胎動

昨年「歴史的」と形容された政権交代に沸いた後半でした。なかでも透明性を高める予算編成への序章としての「事業仕分け」は、その新鮮さもあって多くの国民の耳目を集めました。もっとも、鳩山連立政権の真価が問われるのはこれからで、デフレ、株安、円高の三重苦は新年に至っても重くのしかかり、その基本構造はかわっていません。新年は、言われるところの成長戦略の確かな構築と発信が急がれます。

諸施策のひとつ、亀井金融相の肝煎りで成立した中小企業金融円滑化法が、果たしてどのような効用をもたらすかは金融機関としても大きな関心事です。返済猶予も含め、金利の減免、返済期限の延長、債権放棄など幅広い条件変更の努力義務を金融機関に課しました。ご承知のとおり、努力義務とはいえ、条件変更に応じた件数・金額等を報告・開示する義務があり、努力を怠っている金融機関には行政処分も、というわけですから、仕掛けとしてはなかなか巧妙です。成長戦略のなかで、こうした先行の諸施策がどのように位置づけられてくるのか、説得力のある説明が早くほしいところです。

改正貸金業法の完全施行も6月に迫っています。本丸の利息制限法に合わせた上限金利規制と、総額を借り手の年収の3分の1までとする総量規制が始まります。コンプライアンス不況の元凶のひとつとして指弾されてきた改正貸金業法ですが、中小零細向け融資が縮小してきたのは確かで、この事実は日本貸金業協会の調査にも表われています。融資縮小が借り手保護を優先するあまりの副作用とする見方には反論もあり、中小零細企業の資金繰り悪化の原因は販売不振であって、要するに景気が悪いからだ、というのがそれです。この見方も、全国の財務局が行った商工会議所へのアンケートで裏づけられています。こうしたなか、改正貸金業法の円滑な導入に向けて、大塚金融担当副大臣を座長とするプロジェクトチームが政府内に設置され、目下検討が進められているのはご周知のとおりです。

先の総選挙は、いわゆるマニフェスト選挙と言われました。その公約が絶対的なものかどうかについての日本経済新聞社の世論調査(11月)では、80%の人が「実情にあわせて見直すべきだ」としています。その筆頭が高速道路の無料化と聞けば、国民の冷静さがわかろうというものです。新しい成長戦略のもと、諸施策の整合性がどうはかられてくるのか、新時代への胎動が本格化する1年となりそうです。

コンプライアンス・オフィサー認定試験 成績結果

昨年10月25日実施の〈第21回〉コンプライアンス・オフィサー認定試験の成績結果がまとまりましたので、発表致します。

●金融コンプライアンス・オフィサー1級

金融コンプライアンス・オフィサー1級の成績結果は、〔表1〕のとおりです。

応募者数1,215名中受験者数は961名で、認定者数は308名でした。認定率は32.05%、平均点は54.88点で、認定率・平均点ともに前回並の結果となりました。

問題では、〔問題-3〕住宅ローンの説明態勢、〔問題-6〕カルテル、〔問題-10〕セクシュアル・ハラスメントの3問が、それぞれ4.35点、4.81点、4.52点と低調でした。前回より4点台が1問増えたものの、他の問題の高得点に支えられ、上記のような結果となりました。

〔問題-3〕の住宅ローンの説明態勢については、金融商品でないにもかかわらず金融商品販売法、金融商品取引法から記述する受験者が多く見受けられました。各法律の適用範囲への理解不足が原因のように思えます。民法・銀行法・監督指針への総合的な理解が求められます。

〔問題-6〕のカルテルについては、カルテルについての理解不足から、ポイントの記述のみの解答が多く、論理的な拡がりのある解答は少なく、カルテルを規制している独占禁止法2条6項の定義の部分と、規制している3条について再度の学習が望まれます。特に独占禁止法19条の不公正な取引方法との区別を念頭におく必要があります。

〔問題-10〕のセクシュアル・ハラスメントについては、既出のテーマではあるものの、厚生労働省のガイドラインについての記述が少なく、男女雇用機会均等法の記述に終始した答案が多数でした。セクシュアル・ハラスメントをガイドラインのレベルまで扱った理解が必要です。

●金融コンプライアンス・オフィサー2級

金融コンプライアンス・オフィサー2級の成績結果は、〔表2〕のとおりです。

応募者数8,827名中受験者数は7,900名で、

認定者数は5,453名でした。認定率は69.03%、平均点64.68点で、個数を問う問題、組合せを問う問題、4択の問題の比率は前回とほぼ同様でしたが、前回より認定率で15.38ポイント、平均点で4.41点上回り、好成績でした。

成績結果が好調だったわりには、正解率が30%を下回った問題は、〔問-1〕金融検査マニュアル、〔問-14〕使用者責任、〔問-19〕私文書偽造罪、〔問-27〕金融商品取引法における禁止行為、〔問-32〕金融商品販売法の5問でした。

特に〔問-14〕は、一桁台の正答率でした。これは個数を問う問題でしたが、過去出題頻度の高い選択肢を正解とし、初出の選択肢を誤りとした受験者が8割となっています。

また、その他の〔問-1〕〔問-19〕〔問-27〕〔問-32〕は、既出の問題であり、理解不足を感じます。

●保険コンプライアンス・オフィサー2級

「保険コンプライアンス・オフィサー2級」の成績結果は、〔表3〕のとおりです。

応募者数1,638名中受験者数1,420名で、認定者数は885名でした。認定率は62.32%、平均点61.50点で、認定率・平均点とも前回は若干上回りました。

応募比率では、従来どおり「生命保険・損害保険」5割、「その他個人」3割、「信連・農協」1割となっています。

正答率30%以下となった問題は、〔問-5〕銀行の保険販売における弊害防止措置、〔問-8〕特定保険契約、〔問-11〕生命保険募集人の登録要件、〔問-24〕保険料の取扱い、〔問-30〕告知義務違反と詐欺無効の5問でした。

〔問-5〕は今回初出の問題で、かつ、銀行の保険販売であり、日常業務として馴染みがなかったのが原因と考えられます。

〔問-8〕は、特定保険契約の禁止行為が、金融商品取引法の禁止行為と理解してはいるが、具体的には内閣府令で規制されていることへの理解不足から、金融商品取引法条文自体の禁止行為から解答したものと推測できます。

〔問-11〕は、出題頻度の高い問題でありましたが、個数を問う問題では全部正しいある

いは全部誤りのこともあることを銘記すべきです。

〔問-24〕は、生命保険募集人には第1回保険料充当金の受領権限があることへの理解不足から、保険契約者にその所有権があると誤解した解答と考えます。

〔問-30〕は、告知義務違反による契約の解除は商法と保険約款で規定しており、約款ではさらに詐欺無効を規定し既払いの保険料は返戻しないとしています。保険業法は、保険会社を規制する業法であることを銘記する必要があります。

〔表1〕金融コンプライアンス・オフィサー1級・業態別成績一覧表

	都特	銀地	銀地	信託	第地	二銀	信金	信組	信連	農協	労金	生損	保保	証券	他団体	個人	全体
応募者数(名)	28	405	31	254	231	40	74	21	16	0	115	1,215					
応募比率(%)	2.30	33.33	2.55	20.91	19.01	3.29	6.09	1.73	1.32	0.00	9.47	100.00					
受験者数(名)	21	320	18	222	183	30	60	12	13	0	82	961					
受験率(%)	75.00	79.01	58.06	87.40	79.22	75.00	81.08	57.14	81.25	0.00	71.30	79.09					
認定者数(名)	12	116	11	56	48	5	14	6	8	0	32	308					
認定率(%)	57.14	36.25	61.11	25.23	26.23	16.67	23.33	50.00	61.54	0.00	39.02	32.05					
平均点(点)	58.67	55.97	60.22	54.39	52.92	49.63	52.08	54.83	59.69	0.00	57.45	54.88					
年齢(歳)	42.4	38.6	39.5	42.6	41.7	41.8	42.9	38.3	45.5	0.0	42.1	41.0					
勤続年数(年)	19.9	15.3	16.3	19.5	19.0	18.7	19.1	15.3	23.4	0.0	18.3	17.8					

〔表2〕金融コンプライアンス・オフィサー2級・業態別成績一覧表

	都特	銀地	銀地	信託	第地	二銀	信金	信組	信連	農協	労金	生損	保保	証券	他団体	個人	全体
応募者数(名)	952	1,912	245	872	1,659	822	1,392	159	18	12	784	8,827					
応募比率(%)	10.79	21.66	2.78	9.88	18.79	9.31	15.77	1.80	0.20	0.14	8.88	100.00					
受験者数(名)	896	1,698	223	765	1,460	748	1,282	143	15	10	660	7,900					
受験率(%)	94.12	88.81	91.02	87.73	88.00	91.00	92.10	89.94	83.33	83.33	84.18	89.50					
認定者数(名)	841	1,317	185	491	916	381	686	109	12	7	508	5,453					
認定率(%)	93.86	77.56	82.96	64.18	62.74	50.94	53.51	76.22	80.00	70.00	76.97	69.03					
平均点(点)	74.00	67.01	68.16	62.69	62.44	58.92	59.90	65.75	68.27	64.80	67.59	64.68					
年齢(歳)	41.0	34.3	28.6	30.4	34.6	33.3	37.9	32.6	39.7	39.7	36.8	35.2					
勤続年数(年)	18.5	11.4	4.6	7.3	11.9	10.6	15.6	9.6	16.7	3.6	12.2	12.3					

〔表3〕保険コンプライアンス・オフィサー2級・業態別成績一覧表

	都特	銀地	銀地	信託	第地	二銀	信金	信組	信連	農協	労金	生損	保保	証券	他団体	個人	全体
応募者数(名)	0	82	1	15	94	21	172	0	765	0	488	1,638					
応募比率(%)	0.00	5.01	0.06	0.92	5.74	1.28	10.50	0.00	46.70	0.00	29.79	100.00					
受験者数(名)	0	77	0	11	87	19	159	0	653	0	414	1,420					
受験率(%)	0.00	93.90	0.00	73.33	92.55	90.48	92.44	0.00	85.36	0.00	84.84	86.69					
認定者数(名)	0	57	0	5	55	10	62	0	448	0	248	885					
認定率(%)	0.00	74.03	0.00	45.45	63.22	52.63	38.99	0.00	68.61	0.00	59.90	62.32					
平均点(点)	0.00	63.51	0.00	57.82	61.86	58.53	54.73	0.00	63.37	0.00	60.92	61.50					
年齢(歳)	0.0	37.6	0.0	39.1	38.6	37.9	36.4	0.0	43.1	0.0	41.4	41.2					
勤続年数(年)	0.0	15.2	0.0	15.3	15.7	15.9	13.6	0.0	18.0	0.0	15.9	16.6					

* 〔表1〕から〔表3〕における認定基準は60点(以上)です。表中の平均点・年齢・勤続年数は受験者の数値です。

リセット・エコノミー、リセット・ワールド

～2009年BSR年次大会から～



昨年のBSR (Business for Social Responsibility) 年次大会は、10月20日から25日まで、本部のあるサンフランシスコで開催され、今回も取材を兼ねて弊社からも参加しました。今大会のテーマは「リセット・エコノミー、リセット・ワールド (経済の再構築、世界の再構築)」で、企業のCSR担当者のほか政府関係者、環境・人権・消費者問題等の団体が参加、1,000名規模 (大会本部発表) の大きな大会でした。

アメリカでも環境配慮への政権に交代したこともあり、それは大会本部の意気込みにも表われていました。BSR代表のアロン・クライマー氏は、「我われが結果的にもたらした急激な世界的不況、加速する地球温暖化、ビジネスにおける信頼の崩壊、この3つの危機からどう立ち直るか、その解決の糸口こそがCSRだ」と力説したのが印象的でした。また、併せて同氏が示した、「CSRとは①その企業が抱える問題、②地域社会が抱える問題、③地球が抱える問題、を解決していくことである」との定義は、大方の納得をうるものでした。

〔2010年度6月実施〕

コンプライアンス・オフィサー / 個人情報保護オフィサー認定試験のご案内

〔コンプライアンス・オフィサー認定試験〕

実施日	受付期間	実施種目	出題形式	実施時間	受験料
第22回 2010年 6月6日(日)	2010年 4月1日(木)～ 4月21日(水) 必着	金融コンプライアンス・ オフィサー1級	事例付記述式	13:30～16:30 (180分)	6,300円 (税込)
		金融コンプライアンス・ オフィサー2級	四択択一式	10:00～12:30 (150分)	4,200円 (税込)

〔個人情報保護オフィサー認定試験〕

実施日	受付期間	実施種目	出題形式	実施時間	受験料
第11回 2010年 6月6日(日)	2010年 4月1日(木)～ 4月21日(水) 必着	金融個人情報保護 オフィサー2級	三択択一式/ 事例付記述式	10:00～12:30 (150分)	4,200円 (税込)